

佐久総合病院再構築に伴う 白田まちづくり事業計画

交流と協働で織りなす

健康あふれるまち白田

～コンパクトニューシティ「ウェルネス マルシェ・うすだ」～

佐久市 地域整備室

平成26年3月

目次

1. 計画策定の背景・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 地区の特性・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
3. 地区の現況と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
4. 将来像・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
5. 基本目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
6. まちづくり事業内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
7. 関連事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

1. 計画策定の背景

まちづくり事業を行う臼田地区は、平成17年の市町村合併以前の旧臼田町において、「農民とともに」をスローガンに掲げる佐久総合病院を核とし、医療・健康・福祉等を充実するための社会基盤の整備を図る福祉のまちづくりがなされてきました。

一方、佐久総合病院は昭和19年の開業以来、住民が求める最前の医療から高度専門医療まで病院完結型の医療を進めてまいりましたが、施設のたび重なる増築、老朽化への対応。また、医療の高度専門化の進展への対策が急な事態となってきました。

当該地区において、病院機能の変更や再構築に伴う住民の不安を解消し、住民の皆さんと佐久総合病院と佐久市との三者による協働のまちづくりを進めていくこととなりました。

2. 地区の特性

平成17年合併前の旧臼田町は、警察署・県出先機関、また行政、病院、銀行等が集中し南佐久地域の郡都であり、「農村医学発祥の地」として佐久総合病院を中核とした保健医療、保健福祉の先進性を活かした取り組みが注目されました。

旧臼田町で最も注目されました取り組みは、医療機関等と連携を取る中で、町民の健康の増進と福祉の向上を図るため、集団健康スクリーニングを中心とした各種健診事業を推進した点でありましたが、老人福祉・障害者福祉・児童福祉と多方面に渡る福祉関係事業でも充実が図られておりました。

また、佐久総合病院とともに行ってきました保健医療活動につきましては、地域の中核を担う高度先端医療の実施や、救命救急医療体制や在宅医療体制で誰でも等しくサービスが享受できるよう推進してまいりました。

さらに、佐久総合病院の保健福祉活動につきましては、全国に先駆けた老人保健施設や訪問看護ステーションの設置、保健予防活動が実施され、安心して暮らせるまちづくりに寄与しております。

3. 地区の現況と課題

臼田地区は、平成 17 年の合併時に人口 15,504 人でしたが、平成 25 年 4 月には人口 14,137 人と 8.8%減少し、65 歳以上の構成割合は 26.7%から 31.8%に増加し、人口減少・少子高齢化が進んでいます。

また、国立社会保障・人口問題研究所から発表された将来推計人口によりますと、2030 年には、65 歳以上の構成割合は 37%程度となり、少子高齢化社会が更に加速します。

今後は、医療需要の増加・介護需要の増加と高齢者の要介護者・要支援者等が増加し、大介護時代を迎えるといわれています。

臼田地区の人口及び将来推計人口

	H17(2005).4.1 ※1		H25(2013).4.1 ※2		2030 年 ※3	
	人数 (人)	構成割合 (%)	人数 (人)	構成割合 (%)	人数 (人)	構成割合 (%)
総数	15,504	100.0	14,137	100.0	12,613	100.0
0～14 歳	2,077	13.4	1,607	11.4	1,469	11.6
15～64 歳	9,293	59.9	8,030	56.8	6,514	51.7
65 歳以上	4,134	26.7	4,500	31.8	4,630	36.7

※1・・・住民基本台帳人口(日本人)+外国人登録〔資料：市民課〕

※2・・・住民基本台帳人口(日本人+外国人)〔資料：市民課〕

※3・・・将来推計人口(平成 15 年 12 月推計)〔資料：国立社会保障・人口問題研究所〕

4. 将来像

(1) 将来像について

臼田地区で培われてきた医療・健康・福祉をより一層発展・充実させるため、健康づくりに取り組む市民や市民活動団体等が、健康な体・心を育み、積極的に創造的な健康を目指す生活行動や主体的な活動を支援していきます。

また、医療・健康・福祉等に関する様々な情報・店舗等が集まり活気のあるまちづくりを住民の皆さん・佐久総合病院・佐久市の三者が協働して進め、世界最高健康都市を臼田から実現していきます。

なお、

将来像「交流と協働で織りなす健康あふれるまち臼田」
副題 コンパクトニューシティ「ウェルネス マルシェ・うすだ」
といたします。

(2) 将来像の実現に向けて

健康日本21（第2次）・世界最高健康都市構想に基づき、住民の健康づくりを支援するとともに、佐久総合病院を中心とした地域での様々な活動の創設や拡充により、人口増加につなげ地域の活性化を図ります。

5. 基本目標

- I 医療・健康・福祉に関する相談、支援する拠点の整備
- II 医療・健康・福祉に関する情報の発信及び発信源の整備
- III 健康づくりを目的とした活動に主体的に関わる団体並びに住民の増加
- IV 地域内の定住人口の増加と交流人口の増加による地域の活性化

6. まちづくり事業内容

(1) 健康活動サポートセンター（仮称）うすだ健康館整備

◆目的

個人の健康は、家庭・学校・地域・職場等の社会環境の影響を受けることから、地区全体として個人の健康を支え、守る環境づくりに努めることが大切です。

そのため、健康維持、健康意識の向上のための情報発信の場、誰でも気

軽に立寄り、健康に関するなんでも相談やアドバイス、住民同士の交流・団らん・コミュニティ活動の場、子育て中の保護者同士の情報交換や悩みの相談等ができる場を提供することにより、地域の活性化を図る拠点として健康活動サポートセンター（仮称）うすだ健康館を整備します。

◆機能

① 健康増進活動

個人の健康状態を把握するための各種測定、健康長寿体操・転倒予防体操等の実践・指導、ウォーキングの正しい姿勢や実践前の準備等のアドバイスを行います。

また、ITを利用した健康情報等のシステムについて検討します。

② なんでも相談室

日常生活に支障はないが身体で気になることなどの医療・健康・福祉に関し、専門的な知識のある人に、なんでも気軽に相談やアドバイスを受けられる場を随時設置します。

③ コミュニティカフェ

病院や商店街へ訪れた方々が誰でも気軽に立寄って、人や情報の交流や地元に着した様々な分野の活動やイベントの実施など「人と人とのつながりの場」を提供します。

④ つどいの広場

子育て中の保護者等の皆さんが気軽に集まって情報交換し、仲間づくりをするための事業を実施します。

また、子育て専門相談員に子育てに関する悩み・相談ができる場を設置します。

⑤ 臼田地域包括支援センター

利用者や住民等の利便性を考慮し、支所・郵便局・警察署・病院・銀行等が集積している地区へ事務所を移転します。

⑥ 健康に関する教室・勉強会

健康意識向上のための心・体・食等の各種教室や子育て中の母親・父親に対する出産、子どもの怪我・病気等の勉強会を病院等の医療機関や市により開催します。

取り組みを検討している事項（例）

- 観光案内所等

臼田地区にある龍岡城五稜郭・稲荷山公園・スタードーム等の観光名所等について、案内・紹介できるコーナーの設置。

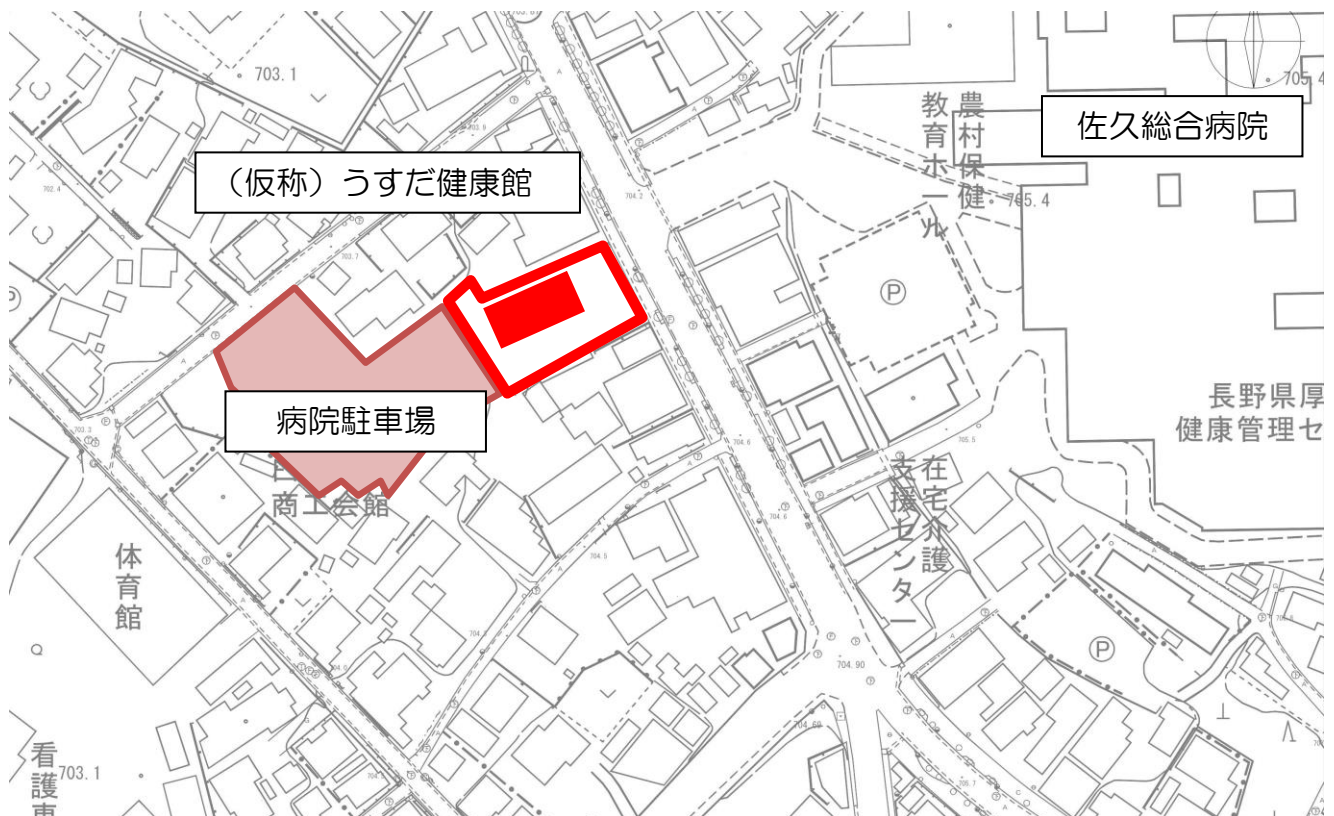
- 臼田の先人を紹介する場

来館者及び住民の方々に世界に誇れる先人を知っていただくため、タペストリー提示や冊子販売を行う場等を当施設や病院内等への設置。

- 回想法

対人交流や情緒の活性化、QOL（生活の質）の向上などに効果があるといわれている回想法について、高齢者等を対象にグループ回想法等の実施。

◆位置図



◆スケジュール

(仮称)うすだ健康館	年度			
	H26	H27	H28	H29
施設整備				
基本・実施設計	●→			
整備		●→		
管理運営				
指定管理者選定		●→		
開業準備		●→		
供用開始			●	

(2) 交流広場

◆目的

商店街への来訪者、病院への来院者等と臼田地区の住民の皆さんとの交流を深めるとともに、地域産業や農業者による地域の活性化を図るため、各種団体が企画・主催するイベント等を開催します。

なお、開催場所については、(仮称)うすだ健康館の駐車場及び病院本院敷地内を予定しています。

◆開催予定事業

① ウェルネスうすだ市

地元の皆さんや商店が出品する農産物や商品の出張実演・販売等を定期的で開催します。

② 健康づくりのための運動等の講習会、各種測定会

参加者同士の信頼関係や結びつきができ、より健康づくりが楽しく継続的に実施できるよう、病院等の医療機関や市が定期的に講習会や測定会を開催します。

③ 佐久総合病院によるイベント

病院職員による企画・主催の健康に関するイベントを開催します。

④ 臼田町商工会、市民活動団体等によるイベント 等

臼田町商工会や市民活動団体、NPO法人、また臼田地区の住民の皆さん等によるイベントを開催します。

(3) 足育（あしいく）事業

足についての正しい知識、正しい靴の選び方・履き方等を知ること、いつまでも健康な足・体を育てることの大切さを啓発し、「足育」をキーワードとした事業を推進します。

- ① 子どもから大人までの正しい知識の普及・啓発
- ② 靴の選び方や正しい姿勢・歩き方の指導
- ③ 子どもから大人の足及び歩行データの収集
- ④ 収集データに基づく医学的根拠の確立 等

(4) 稲荷山公園整備

公園施設の長寿命化計画に基づきまして、コスモタワー及び周辺施設、北側駐車場等の改修整備を計画しています。

なお、北側駐車場については、遠足等で来訪した大型バスを停車し、乗客が安全に乗降できるように平成26年度に改修整備を行います。



(5) 中央中町商店街市道現況調査

歩道のアップダウン解消のための整備のあり方につきまして、市道の現況調査等を計画しております。

7. 関連事業

(1) 健康食のメニュー開発事業

佐久市有機農業研究協議会が平成25年度より農林水産省の国庫補助を受けて行っている「食のモデル地域育成事業」と連携を図り、地域の活性化につなげます。

(2) 福祉・介護施設の整備

佐久総合病院周辺への勝間園の移転改築について、平成25年10月に佐久広域連合へ要望書を提出し、平成26年1月には要望書に対し候補地選定の依頼の旨の回答がありました。引き続き移転改築について、佐久広域連合と連携していきます。

(3) 県道歩道整備

中央交差点から下小田切交差点間は、両側に歩道が整備されていないため、安全に通行できるよう、道路管理者である県と協議していきます。

(4) 千曲川河川敷整備

臼田地区の住民の皆さんや病院の来院者及び入院者等の憩いの場所として整備できるよう、課題の整理を行ってまいりたいと考えております。

(5) ウォーキング事業の推進

運動不足の解消、足腰・心肺機能の向上、全身の血液循環を良くする効果があり、生活習慣病の予防に繋がるウォーキングの推進を図ります。

(6) 空き家バンク情報「おいでなんし！佐久」

平成25年度に臼田地区の空き家状況の調査を実施した結果を基に、登録いただいた物件をホームページ等で情報提供し、空き家の有効利活用による、定住人口の増加、地域の活性化を図ります。

また、市では移住希望者等を支援するため、佐久市商工会議所・JA佐久浅間・長野県宅地建物取引業協会佐久支部佐久平地区・臼田町商工会等10団体で構成する「信州佐久田舎暮らし支援センター」を平成25年11月に設立しました。

この支援センターは、移住希望者等が求める空き家情報や就労・就農情報、土地や暮らし・観光情報などを共有し、ワンストップ相談サービスを提供しています。

(7) 空き店舗情報「こい！こい！商人さん」

平成25年度に臼田地区の空き店舗状況の調査を実施した結果を基に、平成26年度には登録いただける物件をホームページ等で情報提供を行うとともに、補助制度等を検討していきます。